

市内のインフルエンザが注意報レベル

◆アピールポイント

市内のインフルエンザ患者数が急激に増加し、注意報レベルになりました。今後、さらなる感染拡大が想定されますので、感染対策として、換気、手洗い、手指消毒、咳エチケットなどを心がけてください。

◆内容など

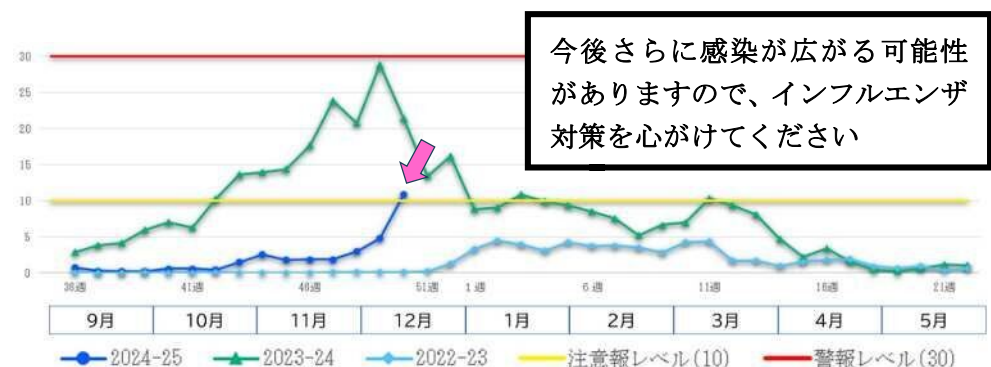
＜静岡市内の感染状況＞

●市内のインフルエンザの定点医療機関あたりの状況

(令和6年12月18日時点)

	47週 (11/18 ～11/24)	48週 (11/25 ～12/1)	49週 (12/2 ～12/8)	50週 (12/9 ～12/15)
1 定点あたりの患者報告数 (市内25の定点医療機関による調査)	1. 84人	2. 96人	4. 80人	10. 84人

●定点医療機関からの患者報告数の推移



●インフルエンザ注意報レベルとは

インフルエンザにおける1週間の新規患者数が、市内の1 定点医療機関あたり 10 人以上で、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある場合となります。(参考：警報レベルは 30 人)

●学級閉鎖の状況

12月9日から12月20日9時までの間に、市内の小中高等学校で、2校が全校閉鎖、1校が学年閉鎖、21校が学級閉鎖の報告があります。

●インフルエンザの特徴

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛などの症状が現れます。普通の風邪と比べ全身症状が強く、気管支炎や肺炎などの合併症を引き起こし、重症化することがありますので、高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

	<感染予防・対策> 感染症予防は、日頃から個人での感染対策が重要です。 体調不良(発熱・咳・のどの痛み等)時に外出すると、更に症状が悪化するとともに、他人に感染させてしまう可能性があります。発熱等の症状がある場合は無理をせず休養するとともに、早めの医療機関の受診をお願いします。周りに体調が悪い人がいる場合は休みやすい環境づくりを心掛けてください。 ●感染対策のポイント 1) こまめな手洗い・手指消毒をしましょう。 2) 換気を心掛けましょう。 3) 適度な湿度を保持しましょう。 4) 人混みでは、咳エチケットを励行しましょう。 5) 感染予防を心がけ栄養や休養をしっかりととり、体調を整えるようにしましょう。 6) 健康に配慮が必要な方やその身近にいる方は特に感染対策を心掛けてください。 ●予防接種 高齢の方や基礎疾患がある方は、重症化することがあります。インフルエンザは、ワクチンの接種により発症の予防や重症化を予防する効果が期待できます。 市では65歳以上の方等を対象に、10月1日からインフルエンザの予防接種を実施しています(令和7年1月31日まで)。詳しくは下記ホームページをご参照ください。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2371/s012291.html <市内の感染症発生状況> 市ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの発生状況が分かるよう、定期的に動画によりホームページで発信しています。ぜひご覧ください。 ●感染症発生動向調査 https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2371/s003411.html ●今週の感染症予報(動画) https://www.tabeshizu.net/infection_countermeasures_division/
--	---

別紙資料 ☒ 有 ・ 無

【問合せ】 保健所感染症対策課

(葵区城東町 城東保健福祉エリア保健所棟2階)

担当 神邊、菅原

電話 054-249-3172

別紙：令和6年12月9日から12月15日（第50週）における静岡市内のインフルエンザ流行状況（参考）

